

JIS 青銅合金 鑄造用地金

JIS H2202
日本工業規格表示工場
製造元
ミカゲ金属工業(株)
三重県安芸郡安濃町字日暮2222-2
電話 059-268-2206(代)
FAX 059-268-1949
販売元
ミカゲ金属株式会社
大阪本部
大阪市中央区博労町3-6-7 三都ビル2階
電話 06-6244-3115(代)
FAX 06-6244-3116
東大阪倉庫
東大阪市長堂3-11-20
電話 06-6782-3115(代)
FAX 06-6782-3143

並銅・下銅
真鍮ドライ粉
アルミ・ステンレス

現金買入れ

新賀金属

八尾市太田新町7丁目24
電話 072-949-9750
FAX 072-949-9462

日刊メタルレポート

発行所
株式会社 日刊金属新聞社
本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話 (06) 6932-5443 代表
北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話 (076) 444-6836
購読料 半カ年44,100円(前納) 3カ月22,050円

◆自動車生産台数

	6月	7月	8月
生産台数	74万2431台	79万325台	70万4696台
前月比	+61.6%	+6.5%	-10.9%
昨年対比	-13.9%	-8.9%	+1.8%

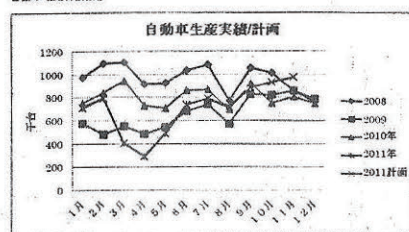
◆自動車販売台数

	7月	8月	9月
販売台数	24万1472台	21万6510台	31万3790台
前月比	+7.3%	-10.3%	+44.9%
昨年対比	-27.6%	-25.6%	+1.7%

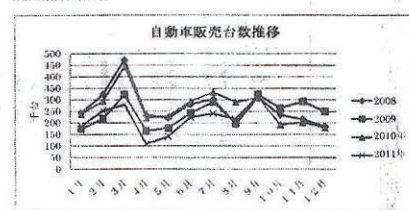
◆半期計画台数

	9月	10月	11月
生産計画台数	88万6400台	93万1800台	97万6800台
前月比	+23%	+5.2%	+4.8%

自動車生産台数推移



自動車販売台数推移



【前月の経済指標】
◆日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比一〇・九%減の七〇万四、六九六台であった。
◆日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比四四・九%増の三一万三、七九〇台。
◆三万月間の自動車生産計画は昨年対比二・八%増の二七九万四千台(二面へ続く)

なったことや、ECBの独シタルク理事の辞任による欧州協調不安、中国の八月のCPI(消費者物価)が六・一%プラスだったことによる引き締め懸念を嫌気し、八、七二〇ドル(セツル)と五〇〇ドル強暴落しての前半締めとなった。後半、独、仏がギリシャのユーロ離脱を否定、欧州金融安定ファシリティー(基金)の融資枠の補充、ギリシャも融資を受けるための不動産税導入など欧州懸念再燃の火消しを行うも、イタリア債の格下げ、ドイツの小売売上高が〇七年以来の下落、さらにIMFの世界および米経済の成長に関して下方修正を行ったことが追い打ちをかけ、十月一日現在、七、一三二ドル(セツル)と前半締めから一、六〇〇ドル強暴落、建値五八万円の波乱のスタートとなった。



橋本健一郎氏

輸入はスクラップが増加

電気銅
輸出 二カ月連続の大幅増加

橋本金属
アルミ 橋本健一郎氏リポート①

【概況】九月前半、前月の鉱山ストと金融緩和期待の上昇相場からは一転、EU、ECB、IMFがギリシャの財務査定内容に関して決裂したことを発端に欧州懸念が再燃、スイス中銀のフラン安介入声明や米国の三五兆規模の景気対策などプラス材料はあったものの、ギリシャ国債の利回りが過去最高の四九%に

鋼の今月は全体として供給不足も

自動車販売が回復 活発だった電気鋼輸入も調整減

九、一九五七。

(二面より続く)

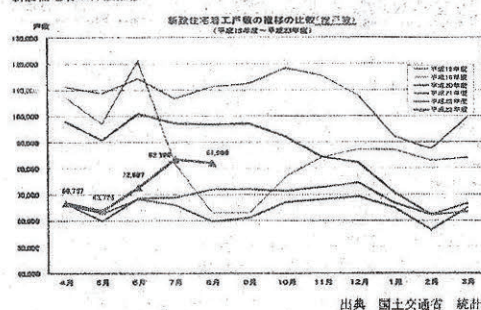
◆新設住宅着工戸数

国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)二・二%減(昨年比一四%増)の八万一千九百六十八戸であった。

◆新設住宅着工戸数

	6月	7月	8月
新設住宅着工戸数	7万2687戸	8万3398戸	8万1986戸
季節調整 前月比	+0.3%	+16.9%	-2.2%
昨年対比	+6.8%	+21.2%	+14%

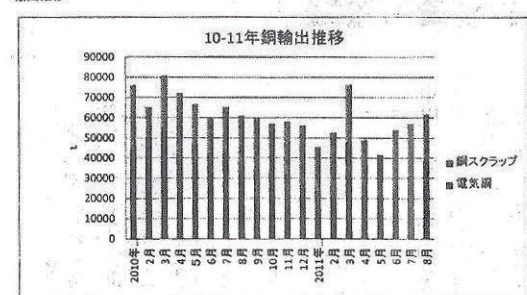
新設住宅着工戸数推移



◆貿易関連指標

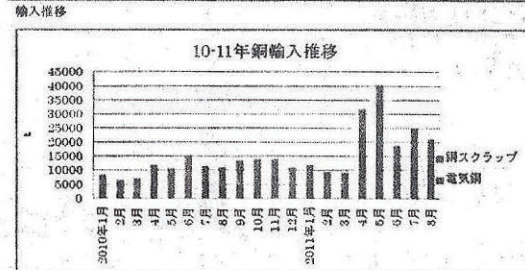
財務省貿易統計によると、輸出は前月比で電気銅が二三・三%増の三万八、一一四t、スクラップが八・八%減の二万三、七〇六t。

輸出	6月	7月	8月
電気銅	2万2656t	3万918t	3万8114t
前月比	+3.1%	+36.5%	+23.8%
スクラップ	3万1301t	2万6千t	2万3706t
前月比	+60.6%	-16.9%	-8.8%



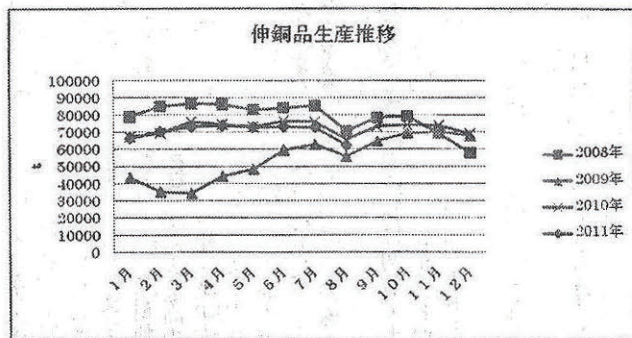
輸入は電気銅が前月比二九・八%減の一萬九、九六三t、スクラップが一五・八%増の

輸入	6月	7月	8月
電気銅	1万2676t	1万7053t	1万1963t
前月比	-62.4%	+34.5%	-29.8%
スクラップ	6158t	7938t	9195t
前月比	-7.2%	+28.9%	+15.8%



【前月の国内指標】

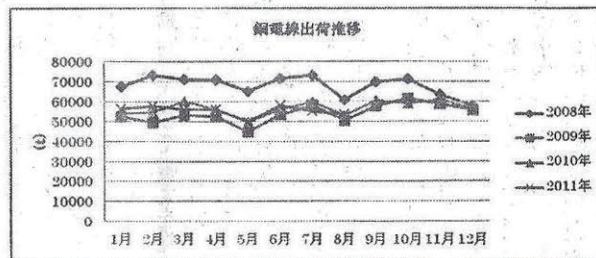
日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比一四・四%減の六万二、二六〇t(昨年対比五・四%減)。



出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は前月比二・五%減の五万三、七〇〇tであった(昨年対比〇・八%増)。(六面に続く)

(二面より続く)



出典 日本電線工業会

【見通し】

需要の低迷も底入りか? 生産調整、在庫調整が進んだ月となった。

自動車生産は前月比一〇・九%減の七〇万四、六九六台と減少するも、前年比では一・八%増とほぼ震災前の水準に戻った。

また国内自動車販売台数も三万三、七九〇台で前月比四四・九%増と急回復、前年比でも一・七%増といよいよ販売低迷も底入りか?

復興需要品種が多い(エアコンパイプ、ガス、水回り系) 伸銅品生産量は前月比一四・四%減の六万二、二六〇tと昨年対比(五・四%減)と三カ月連続の前年割れ。

銅電線出荷量は前月比二・五%減の五万三、

イタリア国債、三段階格下げ

資金調達難の恐れ—ムーディーズ

米格付け大手ムーディーズ・インベスターズ・サービスは四日、イタリア国債の格付けを上から三番目の「Aa2」から六番目の「A2」に三段階引き下げたと発表した。また、格付け見直しも「ネガティブ(弱含み)」に据え置き、今後一段の格下げに動く可能性があることを示唆した。

欧州ではギリシャ債務危機が、巨額の公的債務を抱えるイタリアなど他のユーロ圏諸国にも波及するのではないかと懸念が広がっており、ムーディーズによる伊国債格下げは

七〇〇t、昨年対比〇・八%増とほぼ横ばい。新設住宅着工数は季節調整前月比二・二%減の八万一、九八六戸。前年比で一四%増と前月に続き大幅改善。

輸出に関しては前月に続き、緊急輸入の電気銅の荷余り感から電気銅輸出が前月比二三%増の三万八千tと二カ月連続の大幅増加。輸入に関しては電気銅は国内在庫増から、前月比三〇%減の一萬一、九六三t、スクラップは一六%増の九、一九五tと逆に増加。

銅需給に関しては、一転、今回からついに自動車関連について回復が確認され始め、本格的な需要を前提とした生産・販売が確認され始めた。特に販売面で自動車は前月比四五%増、前年比でも一・七%増とついに昨年並みまで回復した。また現在小幅調整している伸銅品、黄銅棒の生産に関しても自動車生産の回復及び住宅着工の回復が進んでいることから小幅上昇を予測。また一二倍程度の緊急輸入がされていた電気銅も今回、前月比三〇%減と調整が進んでおり今月は全体として供給不足を予測。

銅価格に関しては、欧州懸念の再燃やまちまの米経済指標から現在下落傾向にあるものの、LME価格で一五%程度下落していることや、ギリシャのデフォルトに関してはEU欧州連合も望んでないこと。また中国もインフレ傾向にあるものの、元安誘導のための切り札としてインフレ抑制のための切り上げは行わない可能性もある。さらに、七、〇〇〇ドルを切る水準では国慶節明けから実需筋の買いが入るとの思惑から、LME価格で六、八〇〇〜七、八〇〇ドル。銅建値に関しては五六〜六四万円程度と予測している。

欧州の信用不安拡大に一段と拍車を掛けそう

ムーディーズは伊国債の格下げ理由について、(1)イタリアのような公的債務を多く抱えるユーロ圏諸国は長期的な資金調達が困難になるリスクが拡大している(2)経済成長の下振れリスクが増大している(3)政治および経済の先行き不透明感増大で政府の財政健全化目標の達成が困難になっている—点などを指摘した。